



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社クラレ

コード番号 3405

URL <http://www.kuraray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 文大

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 IR・広報部長 (氏名) 島本 智之 (TEL) 03-6701-1071

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	199,269	10.2	24,657	3.2	24,895	13.8	15,765	23.7
25年3月期第2四半期	180,888	△2.6	23,899	△18.6	21,884	△24.5	12,745	△26.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 37,064百万円(199.0%) 25年3月期第2四半期 12,398百万円(△40.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	45	04	44	91
25年3月期第2四半期	36	57	36	53

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	617,046		433,002		69.1	
25年3月期	587,254		401,307		67.2	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 426,624百万円 25年3月期 394,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00	
26年3月期	—	18.00				
26年3月期(予想)				18.00	36.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	420,000	13.7	55,000	11.8	53,500	10.1	32,000	11.1	91	35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	382,863,603株	25年3月期	382,863,603株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	32,573,911株	25年3月期	34,029,727株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	350,029,057株	25年3月期2Q	348,490,740株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(2)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	連結業績予想などの将来予想情報に関する説明	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	6
	四半期連結包括利益計算書	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2013年4月1日～2013年9月30日）の経営環境は、前連結会計年度終盤より円高の局面が是正されましたが、米国経済こそ好調であったものの、欧州および中国経済の停滞継続、新興国経済の成長ペース鈍化により、全体的に需要に力強さを欠く状況が続きました。国内においても「アベノミクス」に対する期待感はあるものの、当社を取り巻く市場には顕著な効果はまだ見られていません。

このような状況においても、当社グループは持続的な成長を実現させるため、コア事業の世界戦略を加速するとともに、水・環境、エネルギー、光学・電子の各領域において次世代を担う事業の開発を積極的に推進しています。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比18,380百万円(10.2%)増の199,269百万円、営業利益は757百万円(3.2%)増の24,657百万円、経常利益は3,010百万円(13.8%)増の24,895百万円、四半期純利益は3,020百万円(23.7%)増の15,765百万円と増収増益になりました。

当社は、2013年4月1日付の組織改定に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。

セグメント別の状況

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は90,051百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は24,527百万円（同0.5%増）となりました。

① 水溶性ポパールフィルムは旺盛な需要を背景に順調に拡大しましたが、光学用ポパールフィルムは液晶テレビの需要が伸び悩み、販売量は微増に留まりました。ポパール樹脂は欧米での伸長があるものの、アジアでは競合激化の影響を受けました。また、PVBフィルムは欧州の景気低迷の影響を強く受けました。

なお、洗剤用途の旺盛な需要拡大に対応するため、米国で水溶性ポパールフィルムの増設を決定し、工事を進めています。

② EVOH樹脂<エパール>は、米国、アジアを中心に順調に拡大しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は25,388百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は2,068百万円（同99.0%増）となりました。

① イソプレン関連では、液状ゴムの需要は低調に推移しましたが、ファインケミカルおよび熱可塑性エラストマー<セプトン>は需要が回復しました。

② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、LED反射板・コネクタ用途、自動車用途ともに好調でした。

[機能材料]

当セグメントの売上高は23,126百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は471百万円（同43.1%減）となりました。

① メタクリル樹脂は、市況低迷および原燃料価格上昇の影響を受けました。

② メディカルは、歯科材料の販売が堅調に推移しました。

③ 人工皮革<クラリーノ>は、新プロセス品の拡販が遅れ、全体として低調に推移しました。

[繊維]

ビニロンは、ブレーキホース用途、アスベスト代替のFRC（繊維補強セメント）用途ともに堅調に推移しました。この結果、売上高は21,275百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は1,328百万円（同37.2%増）となりました。

[トレーディング]

一部の事業は景気低迷の影響を受け伸び悩みましたが、ポリエステルをはじめとする繊維関連事業は堅調に推移しました。この結果、売上高は53,009百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は1,719百万円（同6.2%増）となりました。

[その他]

活性炭事業は、浄水・エネルギー関連用途を主体に堅調に推移しました。活性炭以外の事業については総じて景気低迷の影響を受け、売上高は30,513百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は1,391百万円（同36.0%減）となりました。

(2)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

欧州および中国経済の停滞継続、国内経済の回復遅れ、新興国経済の成長ペース鈍化の影響を踏まえ、通期の連結業績予想を下表のとおり修正します。

2014年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2013年8月1日)	430,000	60,000	58,500	35,000	100.33
今回修正予想 (B)	420,000	55,000	53,500	32,000	91.35
増減額 (B-A)	△10,000	△5,000	△5,000	△3,000	
増減率 (%)	△2.3	△8.3	△8.5	△8.6	
(ご参考) 前期実績 (2013年3月期)	369,431	49,197	48,590	28,798	82.62

第3四半期以降の平均為替は米ドル100円、ユーロ130円、国産ナフサ価格65千円/KLを前提としています。

<ご参考>2014年3月期 セグメント別業績予想数値

(単位：億円)

	売上高	営業利益
ビニルアセテート	1,870	500
イソプレン	530	60
機能材料	500	20
繊維	470	30
トレーディング	1,100	35
その他	670	30
調整額	△940	△125
合計	4,200	550

注：上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なることがあります。

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の在外子会社について「従業員給付」(国際会計基準審議会 国際会計基準第19号 2011年6月16日)を適用しています。これにより、数理計算上の差異、過去勤務費用および純利息費用等の認識方法ならびに表示方法の変更等を行っています。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっています。なお、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,151	36,981
受取手形及び売掛金	83,843	86,408
有価証券	31,696	54,498
商品及び製品	57,823	58,902
仕掛品	10,332	12,337
原材料及び貯蔵品	15,138	15,685
繰延税金資産	5,732	6,080
その他	7,237	6,855
貸倒引当金	△742	△607
流動資産合計	257,212	277,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,938	43,045
機械装置及び運搬具(純額)	82,298	85,386
土地	20,425	21,201
建設仮勘定	32,326	42,908
その他(純額)	4,285	4,387
有形固定資産合計	181,274	196,928
無形固定資産		
のれん	24,659	26,126
その他	26,664	29,411
無形固定資産合計	51,324	55,537
投資その他の資産		
投資有価証券	83,543	74,204
長期貸付金	679	375
繰延税金資産	2,744	2,842
前払年金費用	5,437	5,297
その他	5,114	4,766
貸倒引当金	△76	△48
投資その他の資産合計	97,442	87,437
固定資産合計	330,041	339,903
資産合計	587,254	617,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2013年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,048	28,786
短期借入金	30,918	36,779
未払法人税等	7,687	7,370
賞与引当金	6,590	6,660
その他の引当金	21	23
その他	29,182	22,415
流動負債合計	111,449	102,035
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,171	32,280
繰延税金負債	14,872	16,738
退職給付引当金	6,665	7,575
役員退職慰労引当金	178	128
環境対策引当金	1,051	1,051
資産除去債務	2,336	2,405
その他	11,221	11,829
固定負債合計	74,497	82,009
負債合計	185,947	184,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,147
利益剰余金	263,262	272,293
自己株式	△40,169	△38,452
株主資本合計	399,195	409,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,076	6,539
繰延ヘッジ損益	△17	△20
為替換算調整勘定	△9,877	10,960
年金負債調整額	△622	△798
その他の包括利益累計額合計	△4,440	16,680
新株予約権	1,221	1,017
少数株主持分	5,330	5,359
純資産合計	401,307	433,002
負債純資産合計	587,254	617,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
売上高	180,888	199,269
売上原価	122,560	136,210
売上総利益	58,328	63,058
販売費及び一般管理費		
販売費	9,255	9,904
一般管理費	25,172	28,496
販売費及び一般管理費合計	34,428	38,400
営業利益	23,899	24,657
営業外収益		
受取利息	190	337
受取配当金	1,021	1,197
持分法による投資利益	0	0
その他	451	662
営業外収益合計	1,664	2,197
営業外費用		
支払利息	494	505
その他	3,184	1,454
営業外費用合計	3,679	1,959
経常利益	21,884	24,895
特別損失		
固定資産廃棄損	120	280
減損損失	—	118
買収関連費用	748	—
投資有価証券評価損	562	—
環境対策引当金繰入額	111	—
特別損失合計	1,544	399
税金等調整前四半期純利益	20,340	24,495
法人税、住民税及び事業税	6,766	8,894
法人税等調整額	543	△342
法人税等合計	7,309	8,552
少数株主損益調整前四半期純利益	13,030	15,942
少数株主利益	285	177
四半期純利益	12,745	15,765

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,030	15,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	464
繰延ヘッジ損益	10	△3
為替換算調整勘定	△394	20,837
年金負債調整額	△73	△176
その他の包括利益合計	△632	21,121
四半期包括利益	12,398	37,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,113	36,886
少数株主に係る四半期包括利益	284	177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,340	24,495
減価償却費	13,829	16,430
減損損失	—	118
環境対策引当金繰入額	111	—
固定資産廃棄損	120	280
買収関連費用	748	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	562	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,489	670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,183	243
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,950	△10,492
その他	249	△221
小計	33,318	31,525
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△9,192	△9,261
その他	685	1,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,811	23,291
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	606	7,754
有価証券の純増減額 (△は増加)	49,989	△22,993
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,310	10,290
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,390	△24,900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△31,051	—
その他	△1,784	△1,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319	△30,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,642	△30
長期借入れによる収入	230	10,054
長期借入金の返済による支出	△2,922	△55
配当金の支払額	△5,922	△6,279
その他	△103	1,031
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,359	4,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△652	1,197
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,480	△1,642
現金及び現金同等物の期首残高	34,811	29,885
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	26
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,291	28,269

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	60,544	14,318	12,872	17,168	52,479	157,383	23,504	180,888	—	180,888
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,569	8,114	8,992	5,328	1,765	38,770	8,145	46,916	△46,916	—
計	75,113	22,433	21,865	22,496	54,244	196,153	31,650	227,804	△46,916	180,888
セグメント利益	24,410	1,039	828	968	1,619	28,866	2,175	31,041	△7,142	23,899

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△7,142百万円には、セグメント間取引消去△205百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6,936百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	77,610	15,046	15,404	15,988	51,739	175,789	23,479	199,269	—	199,269
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,440	10,341	7,721	5,287	1,270	37,062	7,033	44,095	△44,095	—
計	90,051	25,388	23,126	21,275	53,009	212,851	30,513	243,364	△44,095	199,269
セグメント利益	24,527	2,068	471	1,328	1,719	30,115	1,391	31,507	△6,850	24,657

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。
2. セグメント利益の調整額△6,850百万円には、セグメント間取引消去△38百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6,812百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1 四半期連結会計期間に組織改定を実施したことにより、報告セグメントの区分を従来の「樹脂」「化学品」「繊維」「トレーディング」から「ビニルアセテート」「イソプレン」「機能材料」「繊維」「トレーディング」に変更しています。

なお、前第2 四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。